

八戸工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	工学実験Ⅱ (1251)	
科目基礎情報							
科目番号	0132			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実験			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械工学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	4		
教科書/教材	工学実験テキスト (機械工学科)						
担当教員	村山 和裕						
到達目標							
1. 各実験テーマの内容を理解し、関連する授業で修得した知識を応用し他者に説明できる。 2. 実験・実習の心得を理解している。 3. 実験の内容をレポートにまとめることができ、口頭でも説明できる。。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	各実験テーマの内容を理解し、関連する授業で修得した知識を応用しながら他者に説明できる。			各実験テーマの内容を理解し、行った実験内容を他者に説明できる。		左記ができない。	
評価項目2	実験の目標を理解し、安全に実験を行うことができる。			実験の心得を理解し、安全確保のためにすべきことがわかる。		実験の心得を理解せず、安全に実験を行うことができない。	
評価項目3	実験のデータをレポートにまとめ、結果についての考察をまとめることができる。			実験のデータをレポートにまとめ、結果について考えることができる。		実験の内容をレポートにまとめることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達目標 B-1 学習・教育到達目標 B-2 学習・教育到達目標 C-1 学習・教育到達目標 C-2 学習・教育到達目標 D							
教育方法等							
概要	本校の教育目標のひとつに、計画的に実験を行い、データを測定・整理・解析・図示し、説明できること、がある。そこで講義により習得した知識を基に、実際に実験を行って問題点や疑問点を把握し、さらにそれを解明すべく試行錯誤しながら実験を進めていくことが重要である。その中で、各自の理解を確かなものとするとともに、各班内での議論・協議、共同作業を通じて一致協力して目標を達成させる脳直を身に付けることを目標とする。						
授業の進め方・方法	各班6名程度に分かれて、機械工学の各分野の主要なテーマについて、評価・解析を含んだ実験を行う。実験終了後に各自レポートを作成して提出する。						
注意点	各実験テーマの目的・方法を理解し、各自が積極的に考え、進んで実験を行うことともにグループ内で連携をとり、お互いに協力して実験を進めること。レポートの検読期限・提出期限は厳守すること。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	実験				
		2週	レポート作成				
		3週	実験				
		4週	レポート作成				
		5週	実験				
		6週	レポート作成				
		7週	実験				
		8週	レポート作成				
	2ndQ	9週	実験				
		10週	レポート作成				
		11週	実験				
		12週	レポート作成				
		13週	予備実験日				
		14週	予備実験日				
		15週	予備実験日				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の工学実験・実習能力	機械系分野【実験・実習能力】	機械系【実験実習】	レポートの作成の仕方を理解し、実践できる。	4		
				加工学実験、機械力学実験、材料学実験、材料力学実験、熱力学実験、流体力学実験、制御工学実験などを行い、実験の準備、実験装置の操作、実験結果の整理と考察ができる。	4		
				実験の内容をレポートにまとめることができ、口頭でも説明できる。	4		
評価割合							
			レポート		合計		
総合評価割合			100		100		
基礎的能力			0		0		
専門的能力			100		100		
分野横断的能力			0		0		